

## 溶接管理技術者評価試験案内 〔特別級対象〕

一般社団法人 日本溶接協会  
溶接管理技術者認証委員会  
溶接管理技術者評価委員会

WES 8103「溶接管理技術者認証基準」に基づく評価試験を次の要領で実施いたします。

### 1. 受験条件

申請者は、下表に示す学歴又は認証に該当する職務経験年数を有していなければならない。

学歴又は認証	等級別の必要職務経験年数		
	特別級	1級	2級
① 大学院卒業者（理工系溶接専修）	1	1	1
② 大学院卒業者（理工系）	2	1	1
③ 大学院卒業者（理工系以外）	5	3	1
④ 大学卒業者（理工系溶接専修）	1	1	1
⑤ 大学卒業者（理工系）	3	2	1
⑥ 大学卒業者（理工系以外）	6	4	2
⑦ 短期大学卒業者（理工系溶接専修）	5	3	1
⑧ 短期大学卒業者（理工系）	6	4	1
⑨ 短期大学卒業者（理工系以外）	10	7	4
⑩ 工業高等専門学校卒業者	6	4	1
⑪ 理工系各種専門学校卒業者	—	6	2
⑫ 工業高等学校卒業者（工業高校）	—	7	2
⑬ 工業高等学校以外の高等学校卒業者	—	8	4
⑭ 上記学歴によらない場合	—	—	7
⑮ 1級認証者	3	—	—
⑯ 2級認証者	—	3	—

- 備考
1. 表中の経験年数は最小限の必要年数を表す。
  2. 経験年数は溶接技術に関連した職務に専従した期間とし、専従でない場合は職務の実態に応じて査定する。
  3. 学歴による経験年数は卒業後（受験条件①～⑬）、認証による経験年数は認証取得後（受験条件⑮、⑯）の年数とする。
  4. ⑤の大学卒業者（理工系）は工業高等専門学校専攻科卒業者を含む。
  5. ⑪の理工系各種専門学校卒業者は、高等学校卒業以上の学歴を有している場合に認められる。

## 2. 受験条件審査

申請者からの申請書類に基づき、申請者の受験条件への適合の可否を審査する。

## 3. 評価試験

評価試験は筆記試験Ⅰ・Ⅱ及び口述試験とする。

3.1 筆記試験Ⅰ：試験の内容は1級溶接管理技術者評価試験と同一である。1級認証者については、筆記試験Ⅰが免除される。筆記試験Ⅰの免除対象者は、必ず“1級適格性証明書の写し”を添付すること。

3.2 筆記試験Ⅱ：試験の内容は次表に示す4つの分野（単位）とする。

分野(単位)	試験の内容		試験の種類	解答問題数
材料・溶接性 (略称：M)	低合金鋼、ステンレス鋼、チタン及びチタン合金、アルミニウム及びアルミニウム合金、耐熱（Ni基）合金など		選択解答	4題
設計 (D)	設計基礎	溶接継手と構造設計の基礎 疲労と疲労設計、破壊力学の基礎	選択解答	4題
	フレーム系設計	鋼構造設計規準、 道路橋示方書 など AWS D1.1（英文）		
	ベッセル系設計	圧力容器の継手強度と設計 JIS 圧力容器、 ASME Sec. VIII（英文）		
施工・管理 (P)	品質管理一般	溶接関連 ISO 規格	選択解答	4題
	フレーム系、施工・管理	破壊事例 道路橋示方書、建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事 など AWS D1.1（英文）		
	ベッセル系、施工・管理	破壊事例、ASME 規格（英文）		
溶接法・機器 (E)	各種溶接法 エレクトログラスアーク溶接、エレクトロスラグ溶接、 電子ビーム溶接、レーザー溶接、プラズマ溶接などを含む 自動・ロボット溶接 各種切断法		選択解答	4題

注1) 設計、施工に関連する各種規格は試験の際に関連資料として配布する。

注2) 設計(D)及び施工・管理(P)は、規格(AWS・ASME)問題2題の中から必ず1題を選択すること(2題選択不可)。

注3) 試験の際に電卓及び英和辞書を貸与する(持込不可)。

3.3 口述試験：溶接管理技術者認証基準（WES 8103）の4項、表1の特別級に該当する責務能力、知識及び職務能力を有することを評価するための口述試験を行う。

## 4. 合否判定基準

4.1 筆記試験Ⅰ：受験条件を満足し、全問の総得点が70%以上の受験者を合格とする（1級筆記試験と同基準）。筆記試験Ⅱに合格し、筆記試験Ⅰに不合格となった者は特別級の合否を保留とし、筆記試験Ⅰの再試験を受験することができる。再試験は2回まで、かつ2年以内とする。

4.2 筆記試験Ⅱ：次の4つの単位毎に各問題を採点する。

- a) 材料・溶接性 (M)
- b) 設計 (D)
- c) 施工管理 (P)
- d) 溶接法・機器 (E)

(イ) 合否の判定基準：受験条件を満足し、全問の総得点が70%以上で、かつ各問題の得点が40%以上の受験者を筆記試験Ⅱ合格とする。

(ロ) 保留の判定基準：全問の総得点が70%以上あり、得点が40%未満の問題が16問中一つでも含む場合は、その問題を含む分野の単位を保留とする。ただし、筆記試験Ⅰに合格していることが条件である。

4.3 口述試験：筆記試験に合格した者は、口述試験を受けることができる。

口述試験において、十分な責務能力、知識及び職務能力を有すると認められたとき、合格とする。口述試験不合格の場合、特別級の合否を保留とする。この場合の扱いは単位保留の場合と同じである。

4.4 保留単位の扱い：保留された単位については、その単位についてのみ再試験を受験することができる。再試験は2年以内に2回まで受験できる。（試験は年2回行われるので**最初に保留となった試験を含めて2年間で最大3回**の受験となる。）

再試験では、該当する単位の総得点が70%以上で、かつ各問の得点が40%以上を得たとき、その単位を合格とする。再試験の結果、すべての単位が合格したとき、筆記試験Ⅱを合格とする。

## 5. 特別級及び1級溶接管理技術者適格性の認証

筆記試験Ⅰ、Ⅱ及び口述試験に合格した場合、特別級溶接管理技術者の認証を受けることができる。筆記試験Ⅰ及び口述試験に合格した場合、1級溶接管理技術者の認証を受けることができる。この場合、評価委員会が承認した1級対象研修会（特別級基礎編研修会）を受講し、修了証書を取得した者は口述試験が原則として免除される。

## 6. 試験期日

6.1 筆記試験：平成29年11月12日（日）

6.2 口述試験：平成29年12月9日（土）

※ 口述試験については、筆記試験終了後受験者に試験場を通知する。

（原則、東京もしくは大阪で実施する。試験場は筆記試験の受験地を参考に決定する。）

## 7. 試験会場（筆記試験）特別級 溶接管理技術者対象

各会場の詳細は、受験票により追ってご案内します。**会場は急に変更となる可能性がありますので、受験票をよくご確認の上、指定会場へお越しください。**

受験地	受験地コード			会 場 (予定)	所 在 地
	特別級	1 級	2 級		
仙 台	76	06	56	ハーネル仙台	宮城県仙台市青葉区本町 2-12-7
東 京	77	07	57	TOC有明	東京都江東区有明 3-5-7
名古屋	78	08	58	名古屋国際会議場	愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1-1
大 阪	79	09	59	AAホール本館	大阪府大阪市中央区淡路町 3-2-9
福 岡	80	10	60	南近代ビル	福岡県福岡市博多区博多駅南 4-2-10

※ 受験申請書に受験地コードを必ずご記入ください。

※ 受験地の変更は一切受け付けません。

試験時間 特別級（筆記試験Ⅰ）；10:00～12:30（1級筆記試験に同じ、開場時間 9:15～9:45）

特別級（筆記試験Ⅱ）；14:00～17:00（開場時間 13:15～13:45）

## 8. 受験手続

8.1 受験申請書に所定の事項を記入し、**必ず縦4.5cm、横3.5cmの鮮明な証明用写真**（最近6か月以内撮影の脱帽正面肩より上のもの**2枚**）をのり付し申請書に添付してください。この写真は**会場での受験者確認及び、合格者の内、登録手続を終えた方に発行する適格性証明書の写真**として使用いたします。

(イ) 特別級の受験条件①～⑩を適用される方は、**最終学歴の“卒業証明書”又は“卒業証書”をあらかじめご用意の上、縮小コピーして受験申請書の裏面にのり付してください。**（日本技術者教育認定機構(JABEE)認定プログラムの修了証書は不可。）

(ロ) 特別級の受験条件⑮を適用される方（**1級溶接管理技術者の認証取得後、実務経験が3年以上ある方**）は、“1級適格性証明書の写し”を受験申請書の裏面にのり付してください。

- (ハ) 受験申請書の裏面の「受験者の経歴及び職務経歴証明書」に受験条件に該当する経歴（受験条件をよく確かめてください。）を記入の上、受験申請時における**所属長の証明印**を捺印してください。（ロ）に該当する方も、現在までの経歴等は必ず記入してください。  
**（自己証明は認められません。）**  
なお、経歴が2社以上に及ぶときは各社における経歴を同様の様式により添付してください。
- (ニ) “**研修会修了証書の写し**”を裏面にのり付してください。  
※ 研修会を受講していない受験者は修了証書番号の欄に「なし」と記入してください。
- (ホ) 卒業証明書又は卒業証書、研修会修了証書の氏名と現在の氏名が異なる場合、それが分かる公的な書類の写しもお送りください。

## 8.2 受験料（消費税8%を含む）

- (イ) **筆記試験**：① **25,920円**（筆記試験Ⅰ及びⅡを受験される方）  
② **12,960円**（筆記試験Ⅱのみ受験される方）
- (ロ) **口述試験**：該当者に追って通知しますので、その際に**口述試験受験料（特別級としての口述試験27,000円、1級としての口述試験21,600円）**をお払込みください。
- 受験料は、同封された郵便振替払込書を使用して、郵便局よりお払込ください。  
※ 郵便振替払込金受領証をもって領収書に代えさせていただきます。ご了承ください。  
※ 他の振込用紙の使用や現金書留はお控えください。
- 受験者確認書に必要事項を記入し、**裏面に郵便局から受取った郵便振替払込金受領証（ATMをご利用の場合、ご利用明細票）の写しをのり付**してください。  
（郵便振替払込金受領証又は、ご利用明細票の写しのない場合は受付できません。ご注意ください。）

## 8.3 **申し込み締切日：平成29年10月10日（火）必着（厳守）**

- 8.4 **申し込み先：受験申請書と受験者確認書を同封の上、締切日までに下記宛に送付してください。**  
**一般社団法人 日本溶接協会 溶接管理技術者 評価試験事務局**  
**〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20 電話番号：03-5823-6325**
- 8.5 身体的障害等による理由から、当日の受験に不安のある方は事前に事務局までご連絡ください。

## 9. 受験票の送付について

申し込み受付後に受験票・会場案内図を受験者に送付いたします。  
なお、**受験票等については、受験日の約1週間前に届くように発送いたします。**  
**受験票は当日必ずご持参ください。**

## 10. 受験定員

- 10.1 受験定員は、各試験会場の収容可能人数とします。
- 10.2 定員に達した場合は申し込み締切日以前でも受付を停止します。
- 10.3 申し込み締切日後及び定員に達した後に届いた受験申請書については、返送します。

## 11. 申し込み取消について

申し込み受付後に受験を取り消す場合は、受験料から手数料1,000円を差し引き返却いたします。  
但し、申し込み締切日以降に取り消す場合は、理由の如何に関わらず受験料は返却いたしません。

## 12. 合格者の発表と登録手続

- 12.1 受験者には試験終了後原則として3か月以内に合否通知書により通知します。  
なお、判定に不服のある場合は、所定の手続きにより、30日以内に異議申立てをすることができます。
- 12.2 **合格者は12.1項の通知を受けた後、所定の期日内に登録に必要な書類を提出し、かつ登録料19,440円（消費税8%を含む）を納付してください。**
- 12.3 12.2項の手続きを怠った場合、受験申請書に虚偽の記載をした場合、又は受験に際して不正行為があったと認められた場合には合格を取り消します。